

漁獲情報収集管理事業

鹿熊信一郎、金城詔子*¹、高原勝枝*²

1. 目的および内容

本県周辺漁業資源の適切な管理を行うため、基礎となる漁獲統計データの収集・管理を行う。また、効率的な情報収集及び利用システムの開発を行う。

本事業を実施するにあたり、毎月の漁獲記録が保存されたフロッピーディスクや、セリ帳を提供していただいた関係漁協には厚くお礼申し上げます。

2. 材料及び方法

販売業務（セリ帳集計）にオフィスコンピューター（オフコン）を導入している漁業共同組合を対象に、毎日の販売データをフロッピーディスクに保存してもらい、それを漁獲統計の資料としている。この作業は1989年1月以降継続して実施している。また、オフコンを持たない漁協については、水産試験場においてパソコンにより集計する。この作業のおよその流れを図1に示した。

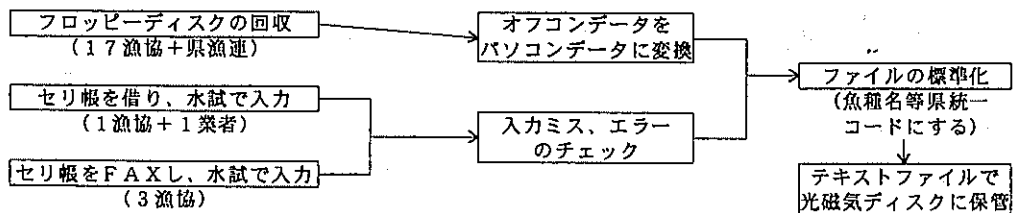
3. 結果及び考察

22の漁協・漁連市場の情報を収集・保管した。データは（株）ジャストシステムのデータベースソフト「五郎」でデータベース化した。市場別、日別、魚種（約300項目）別、漁獲量、漁獲金額などが入力されている。

情報収集を効率化するため、セリ帳を借り水試で入力していた1漁協と仕切表をFAXで送ってもらっていた1漁協もフロッピーディスクのデータを変換する方法に変えた。

情報利用を効率化するため、検索作業をマクロ化し、データベースに慣れていない人でも簡単に魚種別集計等が行えるようにした。また、沖縄県水産試験場漁獲統計利用要領にもとづき、県の水産行政や普及機関がパソコン通信やFAXによって情報を入力できるようにした。

1. 漁獲情報の収集整理 漁協市場データ収集



2. 漁獲情報の利用

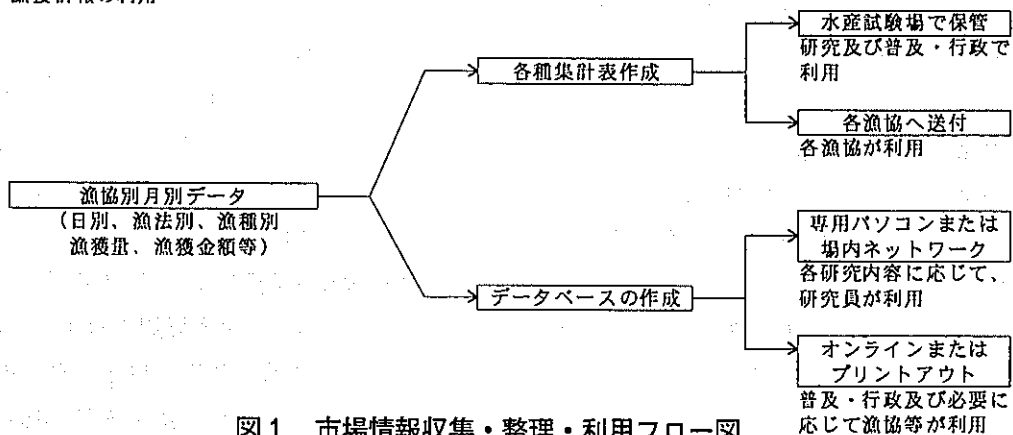


図1 市場情報収集・整理・利用フロー図

*¹ 非常勤職員 *² 非常勤職員